

北東アジア国際労働移動研究

A study on International Labour Migration in North East Asia

大津 定美

(Sadayoshi OHTSU)

ロシアではこの数年「ニエレガールイ」が大きな社会問題となっている。「イリーガル」のロシア語で、不法滞在の外国人という意味だ。正規の在留証明を持たない外国人が問題なのは、彼らの多くが、やみ経済や違法就労、果ては強盗や殺人など犯罪事件にも絡んでいる、というイメージがロシア人の間に広がっているからだ。特に9・11米同時多発テロ事件以後のテロ対策強化の大きなうねりがあり、さらにその前から、ロシアはチェチェンの独立主義者との血みどろの戦争を続けており、ロシア南部国境から流入する外国人への警戒心がいっそう一般市民にも強まっており、総じて「排外主義的」な気風が蔓延しつつある。

この風潮はロシアだけでなく、北米はもちろん統合ヨーロッパでも強くなりつつあり、今や世界的な流れとみられる。「経済のグローバルイゼーション」と裏腹の「狭隘なナショナリズム」が助長されつつある。その流れの中で、ロシアもその例外ではないともいえよう。そういう面も確かにあるが、しかしロシアでは排外だけではすまない複雑な事情が幾重にも絡んでいることを見逃すことは出来ない。

いまロシアでは「外国人とは誰か」という問題がかつてない深刻さで問われているのだ。旧ソ連邦では120以上の異なった民族が暮らしている、と言われてきた。しかし、2002年の国勢調査ではロシアには150以上の民族がいると報告されている。旧ソ連邦、それが崩壊して15の構成共和国が独立し外国となっただけでなく、その「新たな外国」に残っているロシア人(150万とも2000万ともいわれる)の国籍をどう保証するか。南の国境を接するアフガンやイランからの多数の難民はすでに長いことロシアに定住している。カフカスや中央アジアからの非ロシア系諸民族、彼らの多くはロシア語を母語に近い形で話し、ロシアをベースとした社会主義教育を受け、ロシア式(ソ連式)生活様式を持った人々が、ロシアの各地にいまなお多数居住している。彼らもみな「外国人」なのか。

こうした複雑な民族状況に、いまや中国人やベトナム人などアジア系民族が多数「出稼ぎ」労働者として流入しており、中にはロシアを単なる「通過点」として利用しているものも少なくない。これも連邦崩壊時からの国境警備の弛みとロシア式「開放主義」との結果であって、これをどう正常化するか。10年以上の混乱から這い出て、1999年以後、ロシアは今始めて、経済成長と政治の安定を達成しつつあるかに見える。そのロシアの救世主たるプーチン政権にとって、「内なる民族問題」は改めて大きな課題となりつつある。

本稿は、2001年から始まったロシアの新たな移民政策策定のプロセスを概観し、次にその立法面から動向と課題を探り、さらに、分野別研究補助を利用して03年11月に実施した現地調査をもとに、ロシア極東での状況を検証している。と同時に、2002年に策定された「移民関連法」を概観し、03年におけるその実施過程の動向を主に新聞やマスコミの報道も利用して調べている。

研究成果リスト 大津定美 (2004年刊行分は以下の4点、学会報告は除く)

1. 「ロシアの「不法移民」問題と対策—北東アジア国際労働移動研究によせて—」

大阪産業大学産業研究所『人権概念への社会経済学的アプローチ』2004年3月、p.51-78, (産研叢書20 所収)

2. Changing Characteristics of International Labour Migration in Northeast Asia: with a Focus on the Russo-Chinese Border. In Slavic Eurasia's Integration into the World Economy, 21st century COE Program Slavic Eurasian Studies, Ed. by Tabata Shinichiro & Iwashita Akihiro, Slavic Research Center, Hokkaido University, Sapporo 2004, pp.365-388,

3. Отцу, Садаеси, Международная миграция рабочей силы и экономическая интеграции в Северо-Восточной Азии. Сс.86-94, Российская академия наук Дальневосточное отделение, Институт экономических исследований, Дальний восток России: плюсы и минусы экономической интеграции. Хабаровск.2004.

4. 「「極東の人口危機」と外国人労働力問題」、北陸環日本海経済交流促進協議会編

『えーじえっく・れぽーと AJEC REPORT』Vol.36, pp.2-13, 2004年12月15日、

- ・ なお、2005年2月には、上記研究課題の成果の一部と重なる以下の論文集の刊行を予定。大津定美編『北東アジアにおける国際労働移動と地域経済開発』、ミネルヴァ書房 2005年2月、pp.420 (平成16年度・文科省科学研究費・研究成果刊行費助成による)。